

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●浜田多実雄調教師がJRA通算200勝を達成

8月3日(日)の1回札幌4日・第7レースではカベルブリュッケが1着となり、同馬を管理する浜田多実雄調教師(栗東)は、現役105人目となるJRA通算200勝(延べ3037頭目)を達成しました。

●折り返しを迎えたサマーシリーズ！ 首位争いは混戦模様

2025年のサマーシリーズは各部門とも半数以上のレースが終了しました。サマースプリントシリーズ(全6戦中3戦終了)は第1戦・函館スプリントS(GⅢ)を勝ったカピリナ、第2戦・北九州記念(GⅢ)1着のヤマニンアルリフラ、第3戦・アイビスサマーダッシュ(GⅢ)を制したビューロマジックの3頭が各10ポイントで首位タイ。サマー2000シリーズ(全5戦中3戦終了)も第1戦・函館記念(GⅢ)はヴェローチェエラ、第2戦・七夕賞(GⅢ)はコスモフリーゲン、第3戦・小倉記念(GⅢ)はイングリッドアイズが勝利して3頭横一線で、サマーマイルシリーズ(全4戦中2戦終了)は第1戦・しらさぎS(GⅢ)1着のキープカルムと第2戦・関屋記念(GⅢ)1着のカナテブが並ぶ形。サマージョッキーズシリーズ(全15戦中8戦終了)は1勝・2着2回などで21ポイントを獲得したクリストフルメール騎手がトップに立っています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが門別で開幕

2025ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは8月6日に門別で開幕し、第1戦は水沼元輝騎手(美浦)、第2戦は小林美駒騎手(美浦)が制しています。

●黒潮菊花賞は兵庫のラビドフィオーレ【各地の主要3歳重賞】

今年から高知優駿に代わって地方全国交流競走となった黒潮菊花賞(8月3日、高知、1,900万円)は、4番手から4コーナー手前で内から抜け出した5番人気の兵庫からの遠征馬ラビドフィオーレ(牡、父ホッコータルマエ)が6馬身差で圧勝。単勝1.2倍の圧倒的的支持を集めた高知二冠馬ジュゲムーンは2着に敗れ、三冠達成はなりませんでした。

●サンライズアムールらが出走、8月11日のクラスターC(盛岡)

クラスターC(JpnⅢ、8月11日、盛岡、1,200万円)は、オープンで4勝(リステッド競走を含む)のサンライズアムールが最有力、以下チカッパ、ダノンスコーピオン、ヒビキ、アドバンスファラオまでが争覇圏内と考えられます。

●8月14日の北海道スプリントCにマテンロウコマンドが参戦

北海道スプリントC(JpnⅢ、3歳、8月14日、門別、1,200万円)は、兵庫チャンピオンシップ優勝以来となるマテンロウコマンドが中心、エコロアゼル、ヤマニンチェルキ、ミラクルヴォイス(北海道)が続きます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ホイットニーS〜シエラレオーネが追い込み決める

現地8月2日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ホイットニーS(4歳上、ダート1,800万円)は、F.ブラ騎手を背に9頭立ての最後方でレースを進めたシエラレオーネ(牡4歳、父ガンランナー、C.ブラウン厩舎)が直線で外から豪快に伸びて優勝しました。1馬身差の2着に中団から脚を伸ばした昨年のG1ジョッキークラブゴールドCの勝ち馬ハイランドフォールズ。一昨年の米最優秀2歳牡馬で1番人気に推されたフィアースネスは早め先頭から粘り切れず5着でした。勝ったシエラレオーネは昨年ブリーダーズCクラシック(ダート2,000万円)とブルーグラスS(ダート1,800万円)のG1・2勝を挙げて米最優秀3歳牡馬に選出。今年はシーズン初戦となった3月のG2ニューオーリンズクラシックSが3着、続く6月の前走G1スティープンフォスターSも2着でした。

●ズースターが豪チャンピオンサイヤーに輝く

7月31日に閉幕したオーストラリアの2024/25年シーズンにおけるチャンピオンサイヤーにズースター(2010年生まれ、父ノーザンミーティア)が輝きました。初の戴冠。G1ニューマーケットHとG1キングスフォードスミスCを制したジョリースター、G1ウィリアムリードSに勝ったシュヴァルツの2頭がオーストラリアでG1に優勝しました。ズースターは現在オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のウィドゥンスタッドで供用中。今年の交配料は27万5000豪ドル(約2563万円/1豪ドル93.2円で換算)です。